

伊勢・三河湾貧酸素情報 (H30-10号)

平成30年8月16日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成30年8月6日に伊勢湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は下記のとおりです。

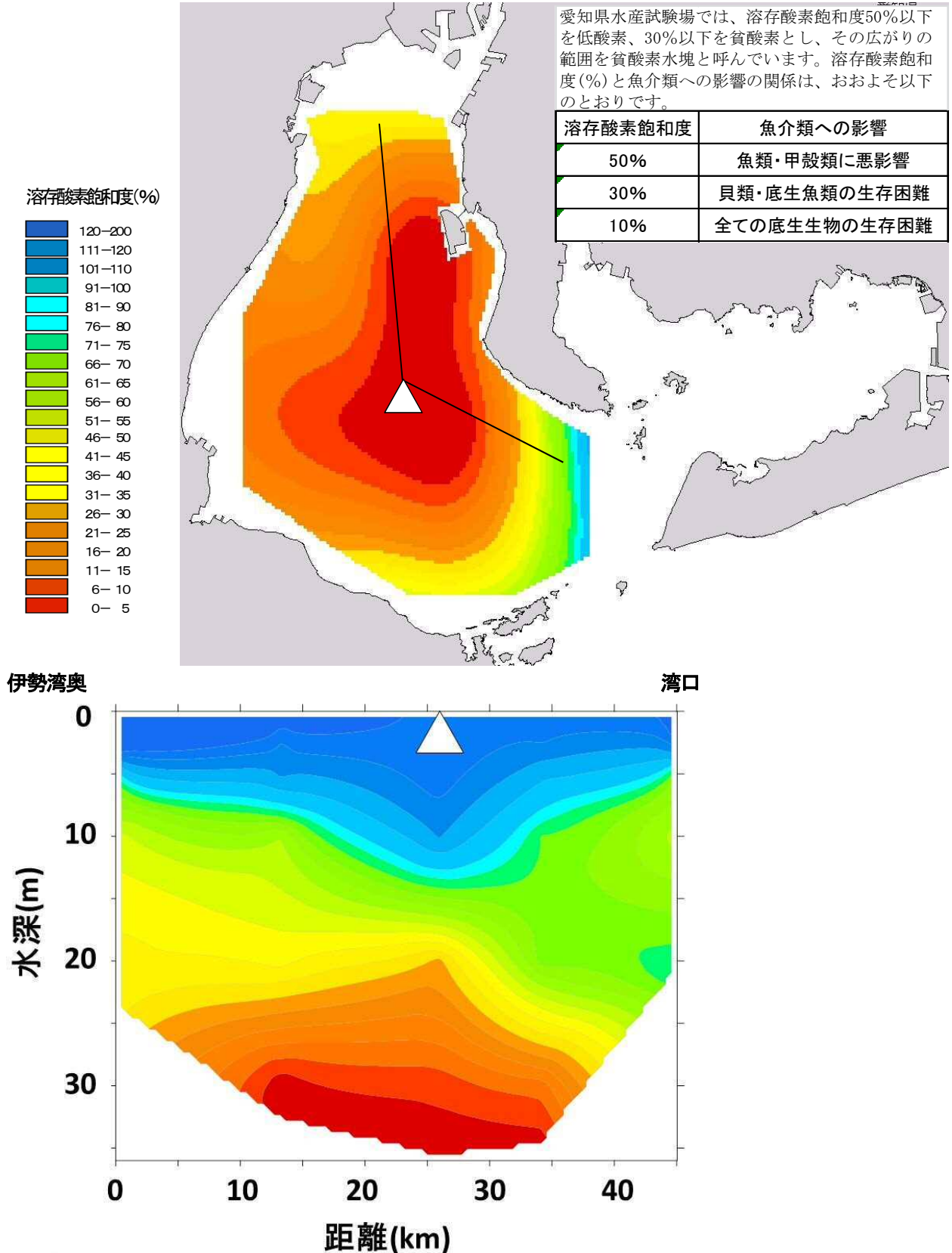


図1 伊勢湾（8月6日）底層の溶存酸素飽和度の分布（上図）及び上図直線部分の鉛直分布（下図）
（三重県「あさま」調査）

伊勢湾

8月6日の調査結果を図1に示しました。広範囲に貧酸素水塊がみられ、貧酸素の層も前回の伊勢湾調査より厚くなっている様子が観測されました。

貧酸素水塊が発達している海域では、表底層の水温較差が10℃以上の地点もあり、表底層の密度差が大きく海水の上下混合が起きにくい状況です。このため、貧酸素水塊の規模は維持されるものと考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(℃)	塩分
表層	28.6~30.9	25.6~29.4
底層	19.6~24.9	30.7~34.1

参 考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

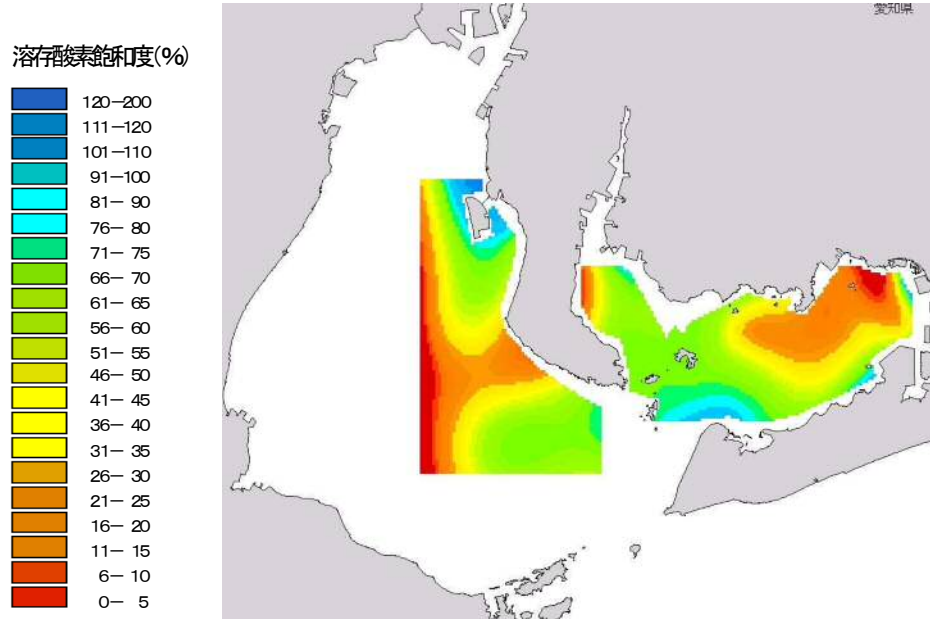


図2 平成30年8月1日 (伊勢湾)、8月2、3日 (三河湾)